

タイムレースでしのぎを削る

第1回平庭高原スキー場「藤田杯」 2月4日



レース前にフェアプレーを誓い合う参加選手の皆さん

平庭高原スキー場に新設されたハーフパイプ特設コースでスノーボードのタイムトライアルレースが開催。プロスノーボーダーの藤田一茂氏主催の大会には県内外から30人が参加しました。プロスノーボーダーのデモランに続き、参加者は競技でしのぎを削りました。(森岩)



梅沢政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



森岩航
リポーター

リーダーの資質を高め合う

久慈市内中学校リーダー交流会 2月2日



生徒会の取り組みについて発表する長内中の生徒

市内中学校の生徒会執行部生徒がアンバーホールでリーダー交流会を実施。分科会で、各校の生徒会活動方針や生徒会の取組を発表し、活発な意見交換がなされました。全体会では、いじめ防止に関する取組が議論され、生徒たちはリーダーとしての資質を高め合いました。

感謝の思いを込めた収穫祭

小久慈小学校5年生収穫祭 1月26日



よいしょ！餅つき体験に真剣な表情

小久慈小学校5年生42人が同校体育館で父母やお世話になっている方々を招いて収穫祭を行いました。代かき田植えから稲刈り、脱穀などの米作り体験について全員で発表と展示を行い、臼を使って餅つきも体験。収穫を祝い感謝を込めて皆でおいしくお餅を頂きました。(大久保)

特産品のシイタケを給食に

ふれあい給食 1月23日

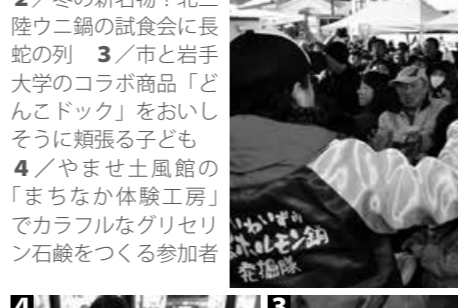


貝だくさんのスープをおいしそうに食べる児童

長内小学校の3年生を対象にふれあい給食が実施されました。久慈の特産品であるシイタケを使ったスープなどがメニューの給食を児童たちはおいしそうに頬張りました。同日には来内小学校でもふれあい給食が行われ、児童たちはシイタケの生産地や栄養などについて学びました。

SNS活用のポイントを説く

インターネットでの情報発信セミナー 1月27日



各SNSの利用者の特徴について話す徳應氏

市内催事場で『「実例で学ぶ!」インターネットでの情報発信セミナー(復興庁ほか主催)が開催。ヤフー株式会社の徳應和典氏を迎え、SNSの活用術について講演しました。徳應氏は「各SNSの特徴や利用者を把握したうえででの情報発信が必要です」とポイントを語りました。

郷土の歌を楽譜に

久慈溪流小唄楽譜リーフレット贈呈 2月9日



リーフレットを遠藤市長に手渡す同会の田表事務局長

歌人砂子彦三郎を顕彰する会が制作したリーフレットを市に贈呈。久慈溪流小唄は大川目町出身の歌人砂子彦三郎氏が作詞した歌で、広く市民に愛されています。同会の田表永七事務局長は「この歌を楽譜として将来に残すことができ、とても嬉しいです」と語りました。

まちのわだい

寒さを吹き飛ばすにぎわい

北三陸くじ冬の市 2月18日



本年度最後の北三陸くじ冬の市が中心市街地で開催。約1,700人が来場し、前日の積雪や寒さを吹き飛ばすようににぎわいでした。市内のイベントで定番の餅まきで幕を開けた冬の市。久慈で水揚げされた旬のタラを使ったタラ汁やB-1グランプリでおなじみの「横手焼そば」「いわいずみ炭鉱ホルモン鍋」などが提供されました。昨年に引き続き「まちなかグルメラリー」も開催され、市内9店舗が参加。この日限りの特別メニューなどを提供しました。

冬の市に合わせて岩手大学の学生が提案した、地魚のドンコを使った「どんこドック」の試食が行われ、試食した人からは「おいしくて食べやすい。魚の味や甘味が生かされている」など好評でした。

手話による社会貢献を推進

平成29年度久慈市手話奉仕員養成講座閉講式 2月3日



手話奉仕員の登録証を受け取る講座参加者

昨年5月から実施している市手話奉仕員養成講座。2月3日に修了者6人に登録証が授与されました。受講者の今野真裕美さんは「今後手話サークルなどで役立てたいです」と抱負を述べました。本講座は平成13年度から開始され、現在までで87人の手話奉仕員が誕生しています。

洋野町とスポーツで交流

ユニカール競技交流大会 2月16日



しばしば作戦会議を開き、頭脳プレーが続きます

夏井町と洋野町のユニカール愛好者が夏井市民センターに集結し、ユニカール競技交流大会を開催。45人が出場し白熱したプレーを展開し、洋野町チームが上位を独占して終了。閉会後はみんなで昼食をとりながら懇談を行い、来年も交流しようと約束し、楽しい一日を過ごしました。(梅沢)

海洋生物への津波の影響を学ぶ

海洋研究出前事業 1月30日



海洋生物の生態について河村センター長に質問する児童

県内で初めての「海洋研究出前事業」が久喜小学校で開催され、4年生以上の児童26人が聴講。教壇に立った東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターの河村知彦センター長は「三陸の海の生物とその研究」と題し、津波が海洋生物に与える影響について説明しました。

児童の高度な研究に感嘆

久慈地区児童生徒科学研究発表会 1月27日



洗濯のりとホウ砂の割合を変えたスライムの研究を発表する児童

久慈小学校で久慈地域の小学生による研究発表会が開催されました。発表会には1年生から6年生まで34人の児童が参加。甘いトマトの見分け方や海水の塩分濃度を変えてのアサリ飼育など大人顔負けの研究結果が発表されると、保護者や先生は驚きの表情を浮かべました。